



イマジン  
ロータリー

第  
2530  
地区

## 福島西ロータリークラブ会報

会長 高 梨 哲 男  
幹事 高 橋 智 弘

奉仕プロジェクト  
委員会委員長 渡 辺 敬 藏

会報写真担当 梅 津 一 匡

令和5年1月4日(水) 第18回 通算第1646回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

### 第18回 市内RC新年合同例会

◇本日のプログラム

#### 新年合同例会

福島・福島北・福島南・福島東・福島中央・福島21・  
福島しんたつ・飯坂・福島西ロータリークラブ

司 会/福島西RC幹事 高 橋 智 弘

◇開会点鐘 福島西RC会長 高 梨 哲 男

◇国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー

西 形 健 吉



◇会長あいさつ 福島西RC会長 高 梨 哲 男



皆様明けましておめでとうございます。

本日は仕事始めの忙しい日にも関わらず、内堀福島県知事、木幡福島市長ならびに歴代パストガバナー、市内8クラブの重鎮の方々にご出席いただき、主催クラブを代表して深く感謝いたしますとともに、僭越ながらご挨拶申し上げます。

未曾有の震災から13年目を迎えるにあたり、私たちロータリアンの認識や価値観が多様化し、それぞれの現状に対する感覚が歪曲矮小化され、原発事故が何故か風化し、電力不足を隠れみのに補償問題をはじめ、処理水の海洋放出を押し上げ私たちの苦悩を置き去りにして、まるで国家の危機を隠蔽する事により責任の不明確さを露呈してきています。

数々の複雑な問題や課題への対応をせまられる今年も始まりますが、私たちロータリアンとしての立ち位置は不変でありはっきり、すっきりしています。政治家の不祥事や物価高、迫りくる不景気、世知辛い心の闇がやがてはロータリーイズムに重くのしかかってくる気がします。

全く関係のない蚊帳の外で客観的に現状を分析す

る訳にはいかないのではないのでしょうか。

威信をかけた迎々しいイマジンロータリーを声高々に呼び半年が過ぎました。目の前にある財団への寄附や何かなんでも会員増強が常に追い掛けてきます。

状況は直感的に変える事はできないし、二面性を含んでいます。意思や理念はやがて岐路に立つロータリークラブの課題として残しておきましょう。

深く考えずにこの国の国防、コロナ、円高などあらゆるスティックな心を今日は封印し、交流を深めていただければ幸いです。

◇来賓並びに参加クラブ紹介

福島西RC会長 高 梨 哲 男

○米山記念奨学生

レティフーンさん (世話クラブ 福島北RC)

于 秋麗さん (世話クラブ 福島南RC)

レティトゥハーさん (世話クラブ 福島西RC)

黄 友征さん (世話クラブ 福島中央RC)

◇知事あいさつ 福島県知事 内堀 雅 雄様  
「ふくしまプライドで逆境を乗り越え、  
ふくしまを『希望の地』へ」



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

福島県知事として三期目を迎えました。皆様からの声をしっかりと受け止めながら、福島の実現を切り拓くため、全力で挑戦を続けてまいります。

福島県は、未曾有の複合災害からの復興はもとより、急激な人口減少、度重なる自然災害からの復旧、新型コロナウイルスの感染拡大防止、さらには原油価格・物価高騰への対応など、幾多の困難な課題を抱えております。

そうした中で、挑戦を絶えず「シンカ(進化・深化・新化)」させながら、様々な逆境を乗り越えることにより、「ふくしまプライド。」を更に光り輝かせていくことが重要と考えております。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、復興の状況に応じた被災者の生活再建や事業・生業の再生、帰還環境の整備などに取り組むとともに、廃炉と汚染水・処理水対策や、風評の払拭と風化の防止、移住・定住の促進など、様々な課題に全庁一丸となって取り組んでまいります。

次に、人口減少対策につきましては、結婚から子

育てまでの切れ目のない支援や、「福島ならではの」教育を推進していくほか、食・運動・社会参加を柱とする健康づくりに力を入れ、全国に誇れる健康長寿県を目指してまいります。

また、農林水産業や商工業、観光業など、既存産業の振興はもとより、新産業の創出・集積等を通じて、若者の県内定着・還流や魅力ある雇用の場づくりなどに取り組んでまいります。

さらに、新型コロナウイルスにつきましては、引き続き、県民の皆様に対し感染防止対策の徹底をお願いするとともに、国や市町村、関係団体等と緊密に連携しながら、感染拡大の防止と確実な医療の提供に取り組んでまいります。加えて、物価高騰等に対しては、需要喚起策や金融支援などにより、生活の安定と経済の維持・再生を図ってまいります。

これらの取組を含め、県の総合計画に掲げた目標を一つ一つ着実に実現させながら、福島の定義を「被災の地」から「希望の地」、さらには「復興の地」へと変えるべく、全力で福島の未来を切り拓いてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、新年の御挨拶といたします。

◇市長あいさつ 福島市長 木幡 浩様  
明けましておめでとうございます。



市内ロータリークラブの皆様には長年にわたり、崇高な理念と社会奉仕の精神の基に、地域社会のリーダーとして社会貢献活動を続けておられますことに対し、改めて心から感謝と敬意を表します。

さて、去年は、道の駅ふくしまや新まちなか広場がオープンし、多くの方々に利用いただいているほか、駅前再開発や(仮称)市民センターが目に見えて動き出しました。また、市民共創によるまちづくりの動きのひとつとして、古閑裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動を応援するサポーターズクラブが市民有志により設立されました。ロータリークラブの皆様にも多数のご支援をいただいております。この場を借りて御礼申し上げます。

一方で、長期化するコロナ禍において、生活スタイルは一変しデジタル化が加速しています。また、ウクライナ侵攻や災害の多発を踏まえ、平和や経済・食料、災害への安全安心にも新たな対応が求められるなど、未知なる変化が多方面から押し寄せています。

新年は「ウィズコロナのもと、感染防止を徹底しながら社会経済活動の拡大を図り、市民生活と地域経済の再生に努めてまいります。

また、移住定住を促進する一方、住み続けたいと思われる都市を目指し、災害や医療福祉への安全安心を高めるとともに、福島ならではの子育て支援・教育の充実、産業振興、女性が活躍できる環境づくり、高齢者にもやさしいデジタル化を進めます。

市民共創で、希望をもって未知なる変化に挑んでいきたいと思っております。今後とも皆様のご協力をよろ

しくお願いいたします。

本年が皆様にとって健康で幸多き年となりますよう心よりお祈りいたします。

◇閉会点鐘 福島西RC会長 高梨 哲 男

祝 宴

※司会／福島西RC 親睦委員会委員長 梅津 一 匡

◇開会

◇祝奏 和太鼓奏者 遠藤 元 気さん

◇ごあいさつ パストガバナー 阿久津 肇様

◇鏡開き(ご発声) パストガバナー 大橋 廣 治様

◇乾杯 パストガバナー 平井 義 郎様

◇締め 万歳三唱 パストガバナー 芳賀 裕様

